

ひよこ組 クラスだより

H.30年 10月 10日(水)



10月10日は統計的にも晴天の日が多いと言われています。秋まったく中をこすもす組さん、ひまわり組さん、たんぽぽ組さんたちは元気に皿倉登山です。

ひよこ組の子どもたちは、まだ登山は出来ませんが、広い園庭で保育士と追いかっこや草むらのアリを見つけたり、砂遊びをしたりして戸外の気持ちよさや開放感を味わっています。

にこにこの笑顔でさわやかな秋をいっぱい楽しんでいます。



☆ラッパが吹けるようになりました！



子どもたちは、初めはなめていましたが、息を吹くと「ブ」と音が出て、ラッパの面白さを発見。ブー、ブーと大きく吹いて、吹く力が強くなり、楽しそうです。

☆ママ・ミニ・メール(2)

お母さん方に、遊びやおやつのレシピ、困った時の対処法などいろいろな情報をお聞きしました。

今回は田村さんです。

- ① 下関の海響館に行った帰り、近くのスーパー銭湯「和楽の湯」に行きました。毎週土曜日はイベントがあって、その日はオモチャのアヒルで埋め尽くされたお風呂でした。バチャバチャつかり、遊び、出るのを嫌がるほどでした。
- ② 今、大好きな遊び…ペットボトルのふた30個くらいを、使い終わった缶や箱、乳酸菌飲料の空き容器にポン・ポンと落としたり、ザーとこぼしたりして遊んでいます。



☆「なでしこの日」(ひよこ組の遠足です)

子どもと保育士、二人でお散歩に行きます。歩くことが出来るお友だちは近くの公園へ、月齢の小さいお友だちは、保育士が抱っこで園庭で遊びます。

子どもの思うままに歩き、止まってみたり、見たい物を好きだけ見て、触れて、陽射しやまわりの音、匂いを全身で感じています。保育士とふたりだけの時間を満喫し、楽しむお散歩です。お天気に合わせ、順番を決めて出かけています。(写真で様子をお伝えしています)

☆お父さん、お母さんとあそびましょ！

「ももや、ももや」(桃太郎のお話をイメージして)

・バスタオルを大人二人で持ち、中にこどもさんを寝かせます。歌にあわせ、ゆらゆら揺らし、最後に高く持ち上げます。

 ももや ももや ながれは はやい
せんたくすれば きものがぬれる
ハー どっこいしょの しょ！

(保育参観の時に一緒に遊ぶ予定です)



☆超、簡単 手作りおやつ

「バナナソテー」

バナナは皮をむき、小さめの角切り。バター少々をフライパンで火にかけ、溶けてきたら、バナナを入れ、こんがり焼いて出来上がり。

(福岡 今丸 木山 船石 尾崎)



平成 30 年 10 月 10 日(水)

日中は暖かさが少し残っていますが、朝晩は少し肌寒くなってきました。部屋にちゅうりつぶ組がお散歩で拾って持って来てくれたどんぐりが緑色から茶色に変わり、「もう、秋が近づいてきたんだなあ」と感じられる瞬間です。

☆ なでしこの日 ☆

なでしこの日は子ども一人一人の興味の持っている事や好きな遊びが出来るように保育士と子どもの2人でお散歩に出かけます。一緒に遊んだり、おやつを食べたり、お話をたくさんしたりして2人での時間と関わりを大切にしています。

お散歩へ出掛ける前は、「今から、どこにいくんだろう」といった子どもの表情です。目的地にたどり着くまでの道のりで出会う物を保育士に指さして、「くるま」「とんぼ」と知らせます。戸外へ出ると、いつもと違う環境なので保育園とは違う笑顔を見せてくれます。また、散歩に行った後の表情も一味違う子どもたちです。



「 あった～ 」

最近園庭に出ると、トンボがたくさん飛んでいます。クラスで「とんぼ」のうたをうたっているので、園庭で見つけた時は歌を歌ったり、「待って～」と両手を羽のように広げて追いかけたりしている子どもたちです。



衣替え

日中と朝晩の気温の差が激しいので、長袖がロッカーの中にあると助かります。保育士が間違えないよう記名をお願いしてもよろしいでしょうか？



今月の絵本紹介

～「くだものさん」～

最近の子どもたちのブームは「くだものさん」です。「くだものさん、くだものさん、だれ～？」と繰り返しのフレーズから色々な果物が出てくる絵本です。果物が出てくる順番や果物の名前を覚えている子どもが多く「りんごさん」「ももさん」と言っています。給食の時間になり、「くだものさん」で出てきた果物があるとスプーンでくい、「みかんさん」と保育士にみせたり、「これは～？」と保育士に果物の名前を聞いている子ども達です。



平成30年10月10日(水)

秋晴れの下、トンボを追いかけたり、園庭のくぬぎの実を拾ったりと、子どもたちは秋探しを楽しんでいます。

先日、がくちゃんが、小さなちょうちょを追ってゆっくりと歩いていました。芝生にとまるとき、手で覆いそっと羽を指でつまんで「先生！ ちょうちょ！ つかまえたよ」と見せてくれました。保育士が「がくちゃん、すごいね」と言っていると、近くで遊んでいた子どもたちが集ってきて「あこちゃんも、持ちたい！」と・・・。するとがくちゃんは「やさしくよ、ちょうちょが死ぬけね！」と言いながら、あこちゃんに渡していました。あこちゃんも”やさしく”触れ、その後、ちょうちょは再び園庭をヒラヒラと飛んでいきました。小さな虫の命は、子どもたちの力加減で簡単に失われてしまいます。そのことに気づいた子どもたちの思いやりと優しさは、大切な人間の基礎を築いていく事と思います。



絵本の紹介

「あーそーぼ」 作：やぎゅう まちこ



ぶたこちゃんの家に「あーそーぼ」と誘いに行くと、ぶたこちゃんは、ちょうどご飯の時間でした。「あーとーで」と言われるけれど「いいないいな」と一緒にご飯を食べて・・・。ご飯がすんだら、さて次は誰を誘いにいくのでしょうか？友だちの家で、掃除をしたり、お風呂に入ったり・・・どんなことでもみんなで一緒にするとなんだか嬉しいものです。わらべ歌「ひとやまこえて」からうまれた言葉のかけ合いが楽しい絵本です



気温に応じて衣服の調節をしていきたいと思います。ロッカーの中に半袖、薄手の長袖の用意をお願いします。記名がなかったり、洗濯で薄くなっている衣服があります。もう一度確認していただければ助かります

ちゅうりっぷぐみ担任：中村、唐木、崎野



10 かつこすもすだよい



平成 30 年 10 月 10 日 (水)

秋分の日を過ぎ、日差しが柔らかく感じられるようになりました。日暮れも早くなり朝夕は長袖が必要になつてきたこの頃です。園庭に出るとコオロギや鈴虫の声が木聴こえてこえてきます。

子ども達は紅葉して散り始めた桜の葉っぱや、真っ赤になって落ちている山みずきの実に気付くと、早速拾つてままごと遊びに使っています。本当に何でも遊びに使うのが上手だなと感心しています。

金比羅登山頑張ったよ！



園庭で『げんきだまとばせ』を踊り出発しました。こすもす組の友だちと手をつないで、♪さんぽ♪どんぐりころころ♪まつぼっくり♪などを歌いながら元気に歩きました。空を見上げて三日月に気付き「ずっとついてくるね。」公園の噴水に「先生見て！虹!!」と発見したり楽しい会話がいっぱいでした。草むらの虫の声を聞いて♪こおろぎコロコロリン～チロチロリン～♪と歌いだす子どももいました。山頂で参拝を済ませると、一匹の猫がやって来て、子ども達を歓迎してくれました。帰り道は、ひまわり組さんと手をつないで歩きました。

無事に園に帰り着き、しっかり給食を食べてベッドに横になるとすぐに夢の中へ...。少しくましくなってきています。

好きな遊びのグループが出来ました



今月の絵本

「さつまのおいも」

焼き芋を食べて「プー」とおならが出ると大喜びです。

「恐竜シリーズ」

トリケラトプスの親子が色々な恐竜達と出会い別れながら、草原を求めて移動していくお話しです。



出来るようになったよ！

☆パジャマや服の着替え

☆遊んだおもちゃの片付け

日々、生活習慣が自立へと向かっていて頼もしく思っています。

こすもす担任・・ 桑原 中西



平成30年10月10日(水) 発行

「先生！10月になったよ！」

10月から秋の体育祭りが始まり、金毘羅登山、皿倉登山、マラソン大会があることを子どもたちに話しました。期待と楽しみに満ち溢れた表情で、カレンダーを毎日見ており、10月に入るとすぐに「先生！今日から10月だよ！」「10月は忙しいね～」と話していました。

3日の金毘羅登山は晴天に恵まれ、みんなで元気をためて出発しました。金毘羅山までの道のりや、登山中はドングリや松ぼっくりを拾ったり、落ち葉の上を歩いて“パリッ”という音を楽しんだりしていた子どもたち。友だちと励まし合ったり、地域の方と「おはようございます」「今から金毘羅山登ってきます！」と挨拶を交わしたりしながら頂上を目指しました。金毘羅神社では、「皿倉山でも怪我しないように登れますように…」とお祈りをして保育園へと帰ってきました。疲れた…という子どももいましたが、10日の皿倉登山は登れる！元気もりもり！と次の登山をすでに楽しみに待っていました。

マラソン大会まで

がんばるぞー！！



いち、に！ さん、し！

乾布摩擦が始まりました。初日は「あ～、次は足こするんやったね」や「マラソンもするんよね」と思い出しながらしており、2日目以降はタオルで身体をこすりながらも、保育土の掛け声に続いて「1！2！」「3！4！」と大きな声で言っています。

これから到来する冬を、心も体も元気に乗り越えていけるように、乾布摩擦をしていきます。

保育園のメダカの赤ちゃんが産されました。

ランチルームの行き帰りは必ず水槽の前で止まり、メダカの様子を見ていた子どもたちは、親メダカが卵を藻に付けていることも知っていました。その卵が孵ったことに気づき「見て！ちっちゃいよ」「あっ！2匹いる！…3匹いる！」と、親になったかのような気分で見ていました。生き物の誕生を間近で見ることができ、子どもたちの生き物に対する興味が深まっていく良い出来事になったと思います。





たんぽぽだより

平成30年10月10日（水）

爽やかな秋風にのってくる、キンモクセイの甘い香りや高く澄んだ空、ますます色づいていく木々に、秋の深まりを感じる頃となりました。子どもたちも「秋のにおいがする！」「あー気持ちが良い」と全身で秋を感じ、園庭の木々の葉の色の変化に気付いたり、虫たちの声に耳を傾けたりと伸び伸びと過ごしています。秋を満喫する中で、ふたば体育まつりが始まり園庭に“エイエイオー！”と元気な声が響き渡りました。金毘羅・皿倉登山やマラソンを経験し、我慢すること、やりとげることの喜びを通して着実に成長していく子どもたちが楽しみです。



次は皿倉登山！みんなで頑張ろう！

3日の金比羅登山では、朝から「今日は金比羅登山だ！」「早く登りたいね！」「みんなで頑張ろう！」と気合い十分の子ともたち。登山中、木の実や落ち葉、木々の揺れる音に耳を澄ませ、友だちと秋の実りを感じながら話し合う子どもたちは、歌をうたったりお話をしたりと、頂上へ続く階段では保育士よりも先に進んでしまう場面も…。頂上までの道のりでは、後から出発した年少・年中児を気にかけ、何度も後ろを振り返り、姿が見えると「頑張れー！」「後もうちょっとだよー！」と声援を送る姿に、年少児を気遣う暖かい心の成長も感じられました。そんな子どもたちは、頂上に着くと金比羅神社の神様に、皿倉登山に向けてより力が湧くよう“みんなが怪我をしないで元気に皿倉山に登れますように”とお願いをしていました。神様から力を頂いた子どもたちは、「皿倉登山も頑張れそう！」「またみんなで頑張ろうね！」と景色を眺めながら意気込んでいました。保育園までの帰り道でも、疲れを見せず秋探しに夢中のたんぽぽぐみ。園に戻ると早速、次の皿倉登山への意欲をふくらませ「次は皿倉！たんぽぽぐみは頂上まで登るんよね！」「山道初めて登るからドキドキする」「神様にお願いしたから大丈夫！みんなで頑張ろう！」と話しを弾ませていました。

挑戦！！

子どもたちは「今日は○回跳ぶ」「○歩、歩けるようになる」と目標を決め、縄跳び・大縄・竹馬で遊んでいます。上手くできず悔しそうな表情を浮かべることもありますが、「もう1回！」「次は頑張る！」と子どもたちは、苦手なことにも積極的に挑戦し、最後まで諦めずに取り組んでいます。最後までやりぬく強い心に向かって、友達の姿に刺激を受けたり、友達同士支えあったりしながら、たんぽぽぐみ全員でさまざまなことに挑戦し、自分を乗り越えようとしています。



お願い

涼しい季節になりました。朝夕は肌寒く感じることもあります。子どもたちが衣服の調節ができるよう、ロッカーの衣服の配慮をよろしくお願い致します。